

レディーミクストコンクリート配合報告書

No. _____

平成 年 月 日

殿

日本工業規格表示認証工場
製造会社名：株式会社 菅野建材
工場名：庄和生コン
TEL 048-746-8776 (代)
配合計画者名 菅野 英記

工 事 名 称														
所 在 地														
納 入 予 定 時 期		平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日												
本配合の適用期間														
コンクリートの打込み箇所														
配 合 の 設 計 条 件														
呼 び 方	コンクリートの種類による記号		呼び強度		スランプ [°] 又はスランプ フロー [°] cm		粗骨材の最大寸法 mm		セメントの種類による記号					
	普通		21		15		20		H					
指 定 事 項	セメントの種類		呼び方欄に記載		空気量		%							
	骨材の種類		使用材料欄に記載		軽量コンクリートの単位容積質量		kg/m ³							
	粗骨材の最大寸法		呼び方欄に記載		コンクリートの温度		℃							
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法		A		水セメント比の上限値		%							
	骨材のアルカリ反応性による区分		使用材料欄に記載		単位水量の上限値		kg/m ³							
	水の区分		使用材料欄に記載		単位セメント量の下限值又は上限値		kg/m ³							
	混和材料の種類及び使用量		使用材料及び配合表欄に記載		流動化後のスランプ増大量		cm							
	塩化物含有量		0.30 kg/m ³ 以下											
	呼び強度を保証する材齢		日											
	使 用 材 料													
セメント	生産者名	住友大阪セメント株式会社				密度 g/cm ³	3.13	Na ₂ Oeq %	0.59					
混和材①	製品名			種類			密度 g/cm ³			Na ₂ Oeq %				
混和材②														
骨材	No.	種 類	産 地 又 は 品 名		アルカリシリカ反応性による区分		粒の大きさの範囲		粗粒率又は実積率		密度 g/cm ³ 絶 乾 表 乾			
細骨材①	砕砂	栃木県佐野市仙波町		A モルタルバー法		5 以下		3.00		2.65		2.69		
骨材②	砂	茨城県稲敷市浮島		A 化学法		5 以下		2.10		2.52		2.58		
材③														
粗骨材①	碎石	栃木県佐野市閑馬町(2005)		A モルタルバー法		20 ～ 5		61.0				2.65		
骨材②														
骨材③														
材④														
混和剤①		ポゾリス 15SR		種類	AE減水剤 (遅延型Ⅰ種)					Na ₂ Oeq %		1.4		
混和剤②	製品名													
混和剤③														
細骨材の塩化物量		② 0.001 %				水の区分		上澄水 地下水						
配 合 表 kg/m ³														
セメント	混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材				混 和 剤			
	①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③	
301			178	597	245		965				3.61			
水セメント比		59.3 %		水結合材比		% 細 骨 材 率		46.5 %						
備考				骨材混合比 (容積混合)		細骨材①:②		70.0:30.0						

コンクリート中のアルカリ総量計算書														
配 合 の 設 計 条 件														
呼び方		コンクリートの種類による記号		呼び強度		スラング又はスラングフォー cm		粗骨材の最大寸法 mm		セメントの種類による記号				
		普通		21		15		20		H				
指定事項	セメントの種類		呼び方欄に記載			空気量			%					
	骨材の種類		使用材料欄に記載			軽量コンクリートの単位容積質量			kg/m ³					
	粗骨材の最大寸法		呼び方欄に記載			コンクリートの温度			℃					
	アルカリシリカ反応抑制対策の方法		A			水セメント比の上限値			%					
	骨材のアルカリシリカ反応性による区分		使用材料欄に記載			単位水量の上限値			kg/m ³					
	水の区分		使用材料欄に記載			単位セメント量の下限值又は上限値			kg/m ³					
	混和材料の種類及び使用量		使用材料及び配合表欄に記載			流動化後のスラング増大量			cm					
	塩化物含有量		0.30 kg/m ³ 以下											
	呼び強度を保証する材齢		日											
配 合 表 kg/m ³														
セメント		混 和 材		水	細 骨 材			粗 骨 材			混 和 剤			
		①	②		①	②	③	①	②	③	④	①	②	③
301				178	597	245		965				3.61		
アルカリ総量の計算表														
アルカリ総量の計算								判定基準		計算及び判定				
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rc Rc = (単位セメント量kg/m ³) × (セメント中の全アルカリ量Na ₂ Oeq:%/100)								①=Rc		—		Rc = 301 × 0.59/100 = 1.776		
								1.776						
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Ra Ra = (単位混和材量kg/m ³) × (混和材中の全アルカリ量:%/100)								②=Ra		—				
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rs Rs = (単位骨材量kg/m ³) × 0.53 × (骨材中のNaClの量:%/100)								③=Rs		—		Rs1 = 597 × 0.53 × /100 = 0.000		
								0.001				Rs2 = 245 × 0.53 × 0.001/100 = 0.001		
												Rs = Rs1 + Rs2 = 0.001		
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rm Rm = (単位混和剤量kg/m ³) × (混和剤中の全アルカリ量:%/100)								④=Rm		—		Rm = 3.61 × 1.4/100 = 0.051		
								0.051						
流動化剤を添加する場合は、 コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³) Rp Rp = (単位流動化剤量kg/m ³) × (流動化剤中の全アルカリ量:%/100)								⑤=Rp		—				
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³) Rt Rt = ① + ② + ③ + ④ + ⑤								Rt 1.828		3.0 kg/m ³ 以下		適		
備考														